

回覧



会期
1/6(土)~
3/24(日)

小野有美子 絵画作品展 「様々」 sama zama

小野有美子さん シヨートインタビュー

1月20日(土)で滞在制作を終えた、福島市出身パリ在住の画家・小野有美子さんに西会津での滞在中についてお話を伺いました

― はじめての西会津で

父が生まれたのは野沢。(＊) 祖父の家も会津にあったので懐かしさと新鮮さが半々。山の感じ、雪の風景は懐かしさを感じましたが、西会津ならではの気候や暮らしのことなど、皆さんから聞かせてもらったことは新鮮でした。

私が絵に描きたいなと思う風景にすぐ出会えるのは、すごく印象的でしたね。

― 西会津のハウンド

滞在中、たびたび郵便局に行っていたんですが、ケーブルテレビで紹介してもらったので、局員の方が見てくださったみたいで「展示してるんですか?」と、「芸術村に来たことがない」とおっしゃっていたのでチラシを持っていったりしました。

― 正解はない

いろんな見方で絵を楽しんで絵に描いている風景は実際に場所があるんですが、その風景を皆さんの身近な場所とつなげていただいたりしてもいいのかもしれないですね。

外国の風景もあるし、福島の風景もあるので、気軽に観ていただけたら嬉しいです。

絵の鑑賞を難しいと感じる方もいるかもしれないんですが、正解も不正解もないし、芸術村のカフェ空間も素敵なので、観て休憩してとか、いろんな見方を楽しんでもらえたらいいのかな。

(＊) 当時、小野さんの祖父母は西会津にお住まいでした。



2024 2月号

2/3 は節分



皆さんのお家の
豆まきは
炒り大豆? 落花生?



小野さんの展示は「様々」というタイトルのとおり、大きさも、描かれていた場所も様々です。100号を越える壁一面の作品などは、ずっと見つけているとその風景を歩

いているような気持ちになります。福島の風景、フランスの風景と世界を行き来するような感覚を覚える展示。ぜひ、会期中にお越しください。

会場：西会津国際芸術村2階

二年・三年教室



2~3月

展示・滞在アーティスト 金子明日香さん



地域の伝統工芸、伝統技術に触れ、その体験を織り交ぜた作品づくりを行いたいです。

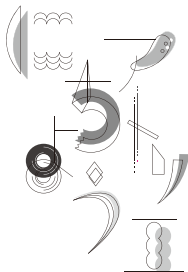
歴史ある土地で実際の風土や伝統、技術を体感しながら自身の表現へと昇華する手がかりを掴みたいと思い、今回応募させていただきました。

西会津は来たことがなかったのですが、山形の大学に通っていたこともあり東北には縁があるため、地元の方々と交流しながら東北の持つ歴史に改めて触れつつ、表現を通して、なにか恩返しできたらと思っています。

【作家プロフィール】 埼玉県生まれ。2013年、東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科卒業。卒業後、空間設計・教育・IT業界にてディレクターとして勤務し2020年よりフリーランスとして活動する。2022年より作家活動を開始。「掘りどころ」をテーマに、風景や文化を分解しながら自身のフィルターを通して再構築した作品を制作する。



Title : LOOK #06
Material : ミクストメディア / キャンパス
Size : W318 × H410 × D18 mm (F6)
Product in : 2023



今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



新しい一年が始まって最初のアトリエは「実験！コップで音楽を奏でよう！」でした。コップに水を入れて、棒を使って優しく叩いてみました。音階を作るのは本当に難しく、耳を頼りに音を奏でました。ワイングラスに水を入れて、グラスの縁を指でなぞって音を出すグラスハーブにも挑戦。音を出すために指先に集中するその真剣な顔を見て、「この表情を引き出すためにアトリエを始めたんだ」と気が引き締まる思いでした。

本年も色々な素材に触れて、色々な表現で、色んな表現の時間を一緒に楽しんでもいけたらと思います。



にちようアトリエ2月予定表

2/4 『静物画を描きます！』
子供の絵はいつも自由で創造的！だから、じっくりものを見て描くことは意外と少ないかな、と思います。穴があくほど見つめてみたら、これまでなかなか描いたことのないキャンバスに描きます。みんなで同じものを描いたら、果たしてどうなるかな？同じ絵ができるのかな？

2/11 おやすみ

2/18 『蜜蝋ラップ作り。』
何度も使える蜜蝋ラップ。レンジで温めるのに使うことはできませんが、野菜を包んで保存したり、お皿に被せて冷蔵庫に入れたり。サステナブル、という言葉が一般的になりました。この蜜蝋ラップを使っているおうちも多いかもしれませんね。今回は、お気に入りのお皿にピッタリサイズで作ってみます。さて、ラップのサイズはどのくらい？？

2/25 おやすみ

にちようアトリエは、毎週日曜日 13:30 - 16:00 (時間内の出入り自由)。予約不要・参加費無料・年齢不限！誰でも参加できるのでお気軽にお越しください。

スタッフおすすめ 今月の本



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

生き物としての力を取り戻す 50の自然体験

発行：オライリージャパン
監修：カシオ計算機株式会社

芸術村スタッフオススメの本をご紹介します。今回は清野が担当します。何も準備せずに外へ出てすぐにもできる遊びから、ブッシュクラフトなど森の中で野営するテクニクまで幅広く紹介されています。最近のブームもあり、アウトドアの本は数多くありますが、この本は技術よりも感性を育てることを大切にしています。観察し、まなび、身を置いてみる。自然への優しい眼差しを感じられる一冊です。



2月といえば、節分・立春という春の兆しを感じる催しが続きますね。最近では、恵方巻とか、春(張る)財布など、縁起と商売がつながったイベントにもなりつつありますね。

わたしが身近な人に聞いた会津の節分は、春を迎えるに当たり、五穀豊穡の祈りを込めた行事として行われていたように思います。鬼を払うというよりは、馬小屋や庚申様に豆を奉納するような感覚でまいていたようです。農耕文化と土着信仰が混じり合って、その土地ならではの風習がつくられていくんですね。



INSTA 日誌



新郷のご近所さんより、柚子大根をいただきました。ときどき来てくださって、展示を鑑賞したり、じぶんカフェで時間を楽しんでいけます。差し入れをいただくこともあり、スタッフの潤いとなっています。

#芸術村の日常

こんな時オススメ
冬は、寒さに弱い腎臓に負担がかかりやすい時期。また巡りが悪くなりやすいので、スープや炒め物にキクラゲを取り入れて、美味しく元気に取りましよう！



マワリテメクハ *季節の薬膳ノート*

キクラゲは、漢字では木耳と書きますが、英語でも 'Jellybean' と表現されるとおり、耳の形ととらえる国は多いようです。八宝菜や酢の物など身近な料理に登場する食材ですが、薬膳食材としても知られています。腎を補い、血を補う。足腰の無力感を解消したり、腸の働きを整える効果があるそうです。西会津特産のキクラゲで元気に過ごしたいですね。



SNS 更新中！
チェックしてみてね！



【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】

